回 覧　回覧後、地区委員保管

緑台小学校秋季大運動会
（９月21日）

令和元年１１月発行：北高森自治会

北高森自治会だより

11月

主な記事
- 総合防災訓練を見学
- 台風15号・19号の被害等
- 北高森長寿会の奉仕活動
- ツキノワグマの痕跡を確認

総合防災訓練を見学

北高森自主防災会は、８月31日（土）午前９時から伊勢原市総合運動公園などで実施された「ビッグレスキューかながわ」に見学参加しました。

毎年、緑台小学校で総合防災訓練が実施されていますが、今年は、神奈川県と伊勢原市の主催により、大規模災害発生時の医療救護活動や救出救助を主に、医療機関や防災関係機関などが協力して実施する広域的な総合防災訓練が実施されました。

都心南部を震源とするマグニチュード７・３の直下型地震の発生を想定し、①医療関係機関及び関係各機関の相互連携体制の強化②地域防災力の強化③住民等の防災意識の高揚④各種対策及びマニュアル・協定等の検証でしたが、来年度は、緑台小学校で自治会独自の訓練を実施する予定です。

これを機に、「減災」のための家族会議をしてみませんか！

台風15・19号の被害等

◎台風15号

台風15号は、９月９日午前３時前に三浦半島に接近し、東京湾に抜けて北東に進み、午前５時前に千葉県千葉市付近に上陸しました。

千葉市付近に上陸するときの勢力は中心気圧960hPa・最大風速40m/sの「強い」勢力であり、関東上陸時の勢力では過去最強クラスといわれ、千葉県を中心に人的被害、住家被害、大規模停電、断水、通行障害等が発生し、ライフラインが寸断されました。

伊勢原市では、「避難準備・高齢者等避難開始情報」（警戒レベル３）が発令され、自主避難者を受け入れる避難所が緑台小学校にも開設されました。

北高森では、１人名の方が避難されました。

◎台風19号

大型で強い台風19号は、10月12日午後７時前に伊豆半島に上陸した後、各地に記録的な強風と大雨をもたらしながら北上し、13日朝に福島県付近から太平洋に抜けました。記録的豪雨により各地で浸水や土砂崩れが発生し、夜には東京を流れる多摩川など、多くの河川が氾濫。複数の死者や行方不明者のほか、多数の負傷者が出ました。

伊勢原市では、「避難準備・高齢者等避難開始情報」（警戒レベル３）、避難勧告（警戒レベル４）、避難指示（警戒レベル４）、大雨特別警報（土砂災害）（警戒レベル５相当）が相次いで発令され、避難所の緑台小学校に、最大55人の方々が避難されました。

台風15号・19号により被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

緑台小学校体育館

成瀬地区体育祭は中止

10月13日（日）成瀬中学校グラウンドで予定されていました「成瀬地区体育祭」は台風19号の影響により、残念ながら中止となりました。

選手選考を担当していただいた北栄会、子ども会、事前準備をしていただいた皆さん。お疲れ様でした。

北高森長寿会の奉仕活動

9月21日（土）午前11時から、北高森長寿会の皆さん30人が、地域への奉仕活動の一環として、高森児童館と高森神社の清掃を実施されました。

また、清掃活動には、「伊勢原北部地域包括センター」の中澤紘代（ひろよ）さんにも参加していただき、終了後、地域包括センターの活動紹介と意見交換を行いました。

北高森長寿会は、年間をとおして、様々な活動を行っています。

ツキノワグマの痕跡を確認

10月16日（水）、高森地区（緑台小学校北側）でツキノワグマの痕跡が確認されました。

次の事項を参考にして被害にあわないようにしてください。

《クマの被害にあわないために》

○クマとの出会いを避けるために

早朝・夜間や霧が出ている時などはクマに出会う可能性があるので注意しましょう。

○クマに遭遇したら

刺激しないようにし、あわてないで静かに立ち去りましょう。大声を出したり、走って逃げたりしてはいけません。

○もし、近づいてきたら

落ち着いてその場を離れましょう。また、静かにしてリュックサックなどの持ち物をひとつずつ置いて、クマの気をそらしながら、ゆっくりと立ち去りましょう。

○子グマを見かけたら

近くに親グマがいる可能性がありますので、速やかに安全なところへ立ち去りましょう。

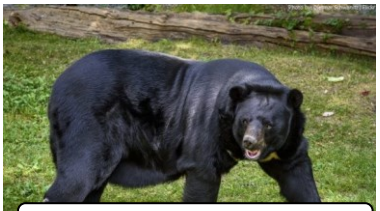
○人家の近くにも出没します

エサを探して人家の庭先やベランダに出没することもあります。果樹やどんぐり等の木の実は片付けておきましょう。また、生ゴミやペットフードを屋外に放置しないようにしましょう。

クマを目撃した場合は！

◎伊勢原警察署
94－0110

◎伊勢原市役所農業振興課
94－4664



ツキノワグマ（資料写真）

北部地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう専門職員（主任ケアマネージャー・看護師・社会福祉士など）が介護相談や介護予防ケアプラン作成などの支援を行う機関として、「北部地域包括支援センター」が、今年1月に高森4丁目（つるやま接骨院跡地）に開設され、現在、様々な活動を行っています。

「北部地域包括支援センター」は、高齢者人口の増加に伴い、東部地域包括支援センターから分割され、担当区域は、下糟屋・東富岡・粟窪・高森・高森1～7丁目・高森台1～3丁目になります。

運営事業者は、同地区を中心に福祉サービスを展開する「ウェルエイジ」になり、センター長は堀田さんのほか、中澤さん、平澤さん、池田さんの4人で、それぞれ専門分野を持った方々です。

◆お知らせ

赤坂の栢沼　勇さんから、長机座卓を4脚を寄贈していただきました。

高森児童館で大切に使用させていただきます。

紙面をお借りし、お礼と報告をさせていただきます。

編集後記

9月から10月にかけて、台風が接近した影響で、予定されていた諸行事も中止や延期を余儀なくされたほか、住宅にも被害が生じました。

被災された皆様には、重ねて心よりお見舞い申し上げます。

また、9月末、高森児童館下の通学路で、キイロスズメバチの巣が発見され、児童の通学路を変更する事案が発生し、安全のため、環境美化センターと地域の方の協力を得て駆除を行いました。

キイロスズメバチは、全国的に刺傷被害が多いハチです！

働きバチの数も多いので、いったん攻撃を受けると数十～数百匹のキイロスズメバチに襲われることもあるそうです。

キイロスズメバチ

発行責任者　関野　裕